

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

食いしんぼうだけでなく、映画好きのバールも脱いだ防災コミュニティ部会です。これからは映画ネタでも攻めまくりませう。

筆者が防災に目ざめたきっかけは映画でした。子どものころにちなみに、パニック映画のブームがあったのです。もっとも映画館ではなく、テレビで観たのですが。



大好きだったのは「大空港」という作品。でもこれは災害ではなく、保険金目当てに飛行機ごと爆弾自殺しようとしたおっさんのために、大勢が迷惑する話でした。大ヒットしたので「エアポート」シリーズとなり、小型機と衝突したり、墜落して海に沈んだり、軍のミサイルに追っかけられたりと、飛行機に乗るのをためらわせるような災難続きでした。（映画のデキは1作目が最高）

航空会社に睨まれることを恐れたのか、どの作品も最後は無事生還してのハッピーエンド。パニック描写よりも、絶望的な状況にもあきらめず立ち向かうプロフェッショナルの姿に感動したものです。

というわけで、頼りになる食いしんぼう・・・じゃなかった防災のプロフェッショナルを目ざす防災コミュニティ部会でありました！



TOPICS

☆「わがまち協働大賞」の投票はじまる！

湖東地区防災ネットワークが、今年度の「わがまち協働大賞」にエントリーしたことは、以前にもお伝えした通り。10月10日にはまちづくりネット東近江の事務所で、宣伝用の動画を収録しました。

出演したのは防災ネットワークの村田道広代表。自信にあふれた口調で、取り組みの素晴らしさをアピールしました。代表は度胸も満点で、収録はどのカットも一発OK。見守っていた湖東まち協の小島善雄会長も感心しきりでした。

また宣伝用のポスターは、防災コミュニティ部会が作成。このコーナーを読んでいる方には想像がつくでしょうが、アホっほいノリが全開になってま〜す。

市役所のロビーで映像とポスターの両方が見られるほか、市内の図書館にも展示されています。HPでも閲覧可能（「わがまち協働大賞」で投票もできます）。

投票は10月末日まで。皆さんもぜひ「エントリーNo. 7 持続可能な防災力向上プロジェクト」に清き1票を！



☆神戸「人と未来防災センター」に行ってきました

東近江市が主催する「防災リーダー研修会」に参加している防災コミュニティ部会、10月13日に県外研修で神戸市にある「人と未来防災センター」を訪れました。



筆者にとってここは2回目だったんですけど、23年前に起こった阪神・淡路大震災の映像を見、語り部の体験談を聞いていると、今でも厳粛な気持ちになります。昔「大地震」というパニック映画がありましたが、現実はいんなお気楽なものではありません。

この日本に住んでいるかぎり、地震などの災害から逃げることはできない。災害が起こるのを防ぐことはできないけれど、被害を少なくすることはできる。そのためには事前の備えや訓練が必要だし、何より大事なのはふだんの近所付き合い。「いざという時助けてくれるのは、遠くの親戚より近くの他人だ！」という語り部さんの言葉が、心に残りました。



今後の活動予定

- 10月28日（日）南菩提寺町防災運動会
- 11月 3日（土）ふるさとまつりステージで防災ウルトラ三択クイズ
- 18日（日）下岸本町DIG出前講座
- 25日（日）小田苅町防災マップ作り出前講座

勝手にQ&Aコーナー

「こんな質問があるかも」と勝手に想像して答えるコーナーです

Q：滋賀は災害の少ない県だと思うのですが。

A：神戸の人たちも「関西で地震は起こらない」と信じ込んでいました。「どうしてそんな風に思っていたのかわからない」と、震災後は懸命に防災に取り組んでおられます。

Q：「大空港」のどこが好きだったんですか？

A：スチュワーデスを演じたジャクリーン・ビセットのファンでした。ほんとに綺麗だったんだから！



楽しい質問、お待ちしております！